

# 防災教育、地域安全の充実に向けて ～防災授業の企画・実施・評価で協働～

## 東京都三鷹市

### 活動名

三鷹中央学園  
コミュニティ・スクール委員会による活動

### 関係する学校

第四中学校・第三小学校・第七小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日		委員数	児童生徒数	学級数			
	平成 20 年 9 月 10 日		23 人	1248 人	39 学級			

- 活動の概要・経緯**
- 3・11東日本大震災の教訓から、コミュニティ・スクール委員会が学校・地域と連携して「大人熟議」「子ども熟議」等を通して防災について真剣に議論を重ね平成24年度に初の防災授業を中3に向けて実施した。
  - 具体的な活動として、地域防災テキスト「カンガエル地域防災」の活用や、「学園研究会×CS委員会100人熟議」の実施、中学生による仮設トイレの組立て・解体、防災訓練への参加等がある。
  - 中学校から始まった参画型の防災授業を、小学校での実施へと発展させてきた。

## 特徴

### 【特徴的な活動内容】

- 防災教育の趣旨や内容を検討するための「大人熟議」「子ども熟議」「学園研×CS委員会100人熟議」で学園とCS・地域の考えを十分に共有している。
- 中学校での授業を実施し、その反省を次の活動に生かすなど、常に点検と評価のサイクルを活用してきた。このことにより、中学校での実践が、小学校での防災授業へとつながり、小・中学校で体系的な防災教育を行っている。
- 地域防災テキスト「カンガエル地域防災」を活用した防災授業を、小・中学校の全学年で実施している。

### 【実施に当たっての工夫】

- 教育の計画については教員が中心となり、計画を充実させるために効果的な人材の選択・調整、実際の授業への支援等をCS委員が行うといった役割分担をすることで、協働の取組が実現した。
- 学園全体の計画である「パワーアップアクションプラン」に防災の観点を位置付けることにより、学校・子供・家庭・地域各々が取り組むべきことを明確にすることができた。

## 事業を実施して

- 学園研究会にCS委員が参加するという形をとった「100人熟議」では、教員とCS委員が混成で10グループに分かれ、「学園で取り組む防災教育—今、私たちにできることは—」をテーマに話し合った。CS委員が日頃余り接触がない教員と熟議を行ったことでお互いを知り、理解を深めることができた。特に中学校の先生方の防災に対する理解が深まり、強い協力体制をいただけたことが、この後の中学生への仮設トイレ組立て・解体の実技授業、市総合防災訓練への参加等、子供や地域の防災意識を高める取組につながった。教員とCS委員がそれぞれの立場を尊重し合い、自分たちのできることを役割分担しながら一つのことを成し遂げる、というまさに「協働」の実践となった。
- 小・中学校全学年での防災授業を実施したことは大きな成果であり、小・中学校の教育課程に明確に位置付けることができた。小学校では、「自助」「共助」を学ぶ仕組みができ、中学校においては、3年間の防災教育の系統性を検証することができた。

## その他

- 本市では、各学園の活動を年間を通して評価・検証するシステムを確立しており、本事業についても、三鷹中央学園では、学園の評価・検証の中に位置付け、改善事項についても次年度に確実に具現化できるよう取り組んでいる。



学園の教員とコミュニティ・スクール委員での「100人熟議」



協働で実現した、小学校第三学年「地域安全マップを作ろう」